種を超えた愛

本課のねらい

- ・身近な話題(ペット)に関する語彙を学び、発話を理解する。
- ・あるライオンにまつわる物語を理解し、内容を自分のことばで話す。
- ・身近な話題(ペット)に関して簡単な質問や応答をする。
- ・読んだ物語に対してストーリー・レポートを書く。

本文の出典

本課の本文は、Anthony Bourke and John Rendall, *Christian the Lion* (Red Fox, 2009)のストーリーを簡潔にまとめ、わかりやすくなるよう適宜情報を付け加えながら書き下ろした。臨場感にあふれた、簡潔で素直な英文となっている。

本文の概要

1969年のある日、ジョンとエースは、ロンドンのデパートで子ライオンを見つけた。驚いたことに、そのライオンは売り物だった。2人はそのライオンを買ってクリスチャンと名づけることにした。クリスチャンとの日々は楽しく愛に溢れたものだった。しかし、ジョンとエースは大都市でクリスチャンを育てることに困難を覚え始めた。彼らはクリスチャンをケニアに連れて行くことにし、野生でほかのライオンと生きるように彼を訓練した。そこにクリスチャンを置いていくことは彼らにとってつらいことだった。1年後、2人は再びケニアを訪れた。お互いを見ると、クリスチャンは喜んで彼らに駆け寄った。彼は旧友たちを覚えていたのだ。彼らは真の友情と愛には限りがないことを知った。

(英文) One day in 1969, John and Ace found a baby lion at a department store in London. To their surprise, the lion was for sale. They decided to buy the lion and name him Christian. The days with Christian were happy and filled with love. However, John and Ace started to experience difficulties raising Christian in a big city. They decided to take him to Kenya and trained him to live with other lions in the wild. It was sad for them to leave Christian there. One year later, the two men visited Kenya again. When they saw each other, Christian ran toward them with joy. He remembered his old friends. They realized that true friendship and love have no limits.

本文の構成

Scene 1 クリスチャンとの出会い

- ① 1 ジョンとエースの紹介
- **2** クリスチャンとの出会い
- 3 2人の決心

Scene 2 クリスチャンとのロンドンでの生活

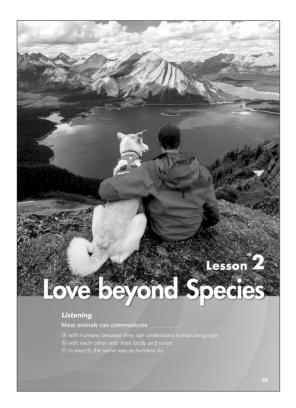
- 4 楽しい生活の様子①
- (5) 楽しい生活の様子②
- (6) 人々の反応
- 7 2人の心配

Scene 3 2人の葛藤とクリスチャンとの別れ

- 8 育て続ける難しさの実感
- 9 ジョージとの出会いと決断
- (10) ケニアへの渡航
- (11) クリスチャンとの別れ

Scene 4 感動の再会

- **12** ケニアへの再訪
- (13) 感動の再会
- 14 友情と愛情の再認識



Listening

リスニングスクリプト

Most animals cannot use human language, but some of them may understand it. Chimpanzees, gorillas and orangutans are among them. Some birds seem to have the ability to use human language, but they just copy sounds and do not understand them at all. Though animals do not have words, they can talk to each other in much the same way as humans do. They use other ways to communicate, such as body movements, type of voice, and so on.

「リスニングスクリプトの訳例」

ほとんどの動物は人間の言語を使うことはできないが、中には理解しているかもしれないものもいる。チンパンジーやゴリラ、オランウータンがそうだ。人間の言語を使う能力を持っているように見える鳥もいるが、それらは音をまねているだけで、意味はまったく理解していない。動物はことばを持っていないが、人間とほぼ同じようにお互いに話すことができる。それらは体の動きや声の種類など、ほかの伝達手段を使っているのだ。

指導例

- 1. 生徒に音声を聞かせる。
- 2. 教師が英語で簡単な質問を行う(What is the passage about? How do animals communicate with each other?など)
- 3. スクリプトを配り、生徒に音読させる。

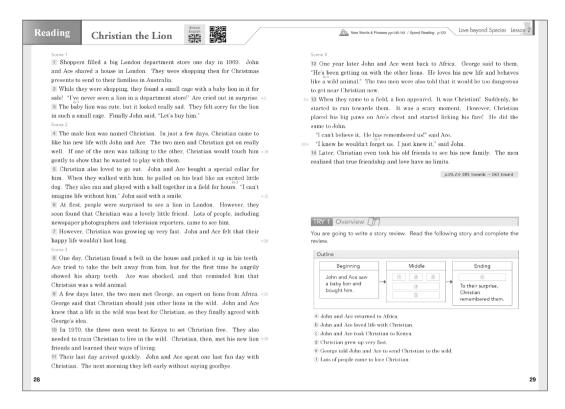
英語での導入例

英語での導入例も記載。

- T: OK, everyone. The title of this lesson is "Love beyond Species." Do you think love beyond species exists, S1?
- **S1:** Yes, I do. I have a dog and like him very much. He also seems to trust me.
- T: Oh, that's nice. You have a good friend. But most animals do not understand human language. How do humans and animals build relationships?
- **S2:** Well ... I think while we are together, we come to understand each other somehow, maybe through body movements and type of voice. We can train intelligent animals such as dogs and monkeys.
- T: Probably you are right. But how about wild animals? Do you think you can be friends with a lion or tiger?
- **S3:** No way! We will be killed and eaten in a moment!
- T: Yeah. I'm getting scared just imagining that. But two men living in the city of London didn't think so. You may be surprised, but in those days, wild animals were sold at a department store! The two men met a baby lion there, what do you think they did? Let's read a story about them. This is a true story.

写真の解説

犬と一緒に座り込んで、遠くの湖や雪をかぶった山 などを眺めている男性の写真。犬と人間という種を超 えた強いつながりを感じさせる。



Scene 1

[訳] 例] 〈本文の日本語訳。

- 1 1969年のある日、ロンドンの大きなデパートは 買い物客でいっぱいになっていた。ジョンとエースは ロンドンで同居していた。彼らはそのとき、オースト ラリアにいる家族に贈るためのクリスマスプレゼント を探して、買い物をしているところだった。
- ② 買い物をしている最中、彼らは、売り出し中の子ライオンの入った小さなケージを見つけた!「デパートでライオンなんて見たことがない!」とエースは驚きのあまり叫んだ。
- **3** 子ライオンはかわいかったが、とても悲しそうに見えた。彼らは、そんな小さなケージに入れられているライオンがかわいそうだと思った。ついにジョンがこう言った。「この子を買おう。」

解 説

全文に関する詳しい解説。



p.28, l.1 Shoppers filled a big London department store one day in 1969. 「1969 年のある日、ロンドンの大きなデパートは買い物客でいっぱいになっていた。」

▷ **shopper** 「買い物客」店(shop)で買い物をして いる客を指す。日本語で「客」を表す他の単語 (e.g. guest〈家庭、ホテルなどを訪れた客〉、customer〈顧客〉、visitor〈来訪者〉、client〈弁護士など専門職への依頼人〉、audience〈観客〉など)と区別できるようにしたい。

- \triangleright A fills B 「A(人・物)がB(場所・容器など)をいっぱいにする」e.g. The audience filled the theater. (劇場は観客でいっぱいだった。) = B is filled with A(B は A でいっぱいだ) cf. fill A with B
- ▶ London 「ロンドン」グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国(イギリス)の首都。イングランド南東部に位置し、テムズ川下流の両岸にまたがる。中心部はシティーと呼ばれ、イングランド銀行・取引所などが集まり、世界経済の中心地の1つ。これを取り巻いて、繁華街のウエストエンド、政治の中心のウエストミンスターなどからなるインナー・ロンドンが都心部をなし、さらにアウター・ロンドン地域までを含めて大ロンドンと呼ぶ。11世紀の征服王ウィリアム1世以来の首都で、セントポール大聖堂・バッキンガム宮殿・ウエストミンスター寺院・国会議事堂・ロンドン塔など、歴史的建造物が多い。人口、行政区 867 万人(2015 年)。
- ▶ department store 「デパート」日本語に影響され、department (あるいは depart) だけで「デパート」という意味を表すと誤解させないように注意。department は「(企業・会社の)部、(大学の)学

- 部」、「(商品別の)売り場」(a food department: 食品売り場)を意味し、「デパート、百貨店」を表す のは department store である。
- ▶ライオンが売られていたこのデパートは、イギリスの有名老舗デパートであるハロッズ (Harrods)。ハロッズのモットーは、「あらゆる商品を、あらゆる人々へ、あらゆる場所へ」であり、クリスマス限定の店舗や食料品売り場はその商品の豊富さで知られ、世界的に有名である。当時は店の中に「動物園」と呼ばれる売り場まであり、野生動物たちが売りに出されていた。ちなみに現在では、ライオン等の野生動物の売買は、ワシントン条約(採択は1973年)等によって厳しく制限されている。
- ▶ in 1969 昭和44年。アポロ11号が人類初の有人 月面着陸を果たした年(7月20日)。日本国内の重 大ニュースは、東大安田講堂攻防戦(1月18~19日)、佐藤栄作首相が訪米、沖縄返還が1972年と決 まる(11月21日)など。
- p.28, l.1 John and Ace shared a house in London. 「ジョンとエースはロンドンで同居していた。」
- ▶ John and Ace 本名は John Rendall と Anthony 'Ace' Bourke。2人ともオーストラリア 出身の若者だった。
- ▶ **share A** 「~を共有する」e.g. I want to share my life with him.(彼と人生をともにしたい。) 家 賃や光熱費の負担を軽減できるため、友人とアパートや家を共有することがある。外国では大学生が、大学の掲示板や新聞の求人欄を使って同居人を探すこともよくある。それと同様に、ジョンとエースも、ロンドンに出てきたばかりで知り合いが少なかったことと、費用の節約のために共同生活を送っていた。
- ▷ in London 「ロンドンで(同居していた)」副詞の働きをする前置詞句。ジョンとエースが暮らしていたのは、ロンドン南西部チェルシーのキングスロードにある、「ソフィストキャット」という家具店の上にある小さなアパートだった。
- p.28, l.2 They were shopping then for Christmas presents to send to their families in Australia. 「彼らはそのとき,オーストラリアにいる家族に贈るためのクリスマスプレゼントを探して,買い物をしているところだった。」
- ▶ were shopping 過去進行形「~しているところだった」
- ▶ then 前々文の one day in 1969 を指す。

- \triangleright **shop for** *A* 「*A* を買いに行く」この場合の shop は自動詞。
- ▶ Christmas presents to send to their families in Australia 「オーストラリアにいる家族に贈るためのクリスマスプレゼント」 to send 以下は to 不定詞の形容詞的用法で、Christmas presents を後置修飾している。in Australia は、their families を後置修飾する前置詞句。

2

- p.28, l.4 While they were shopping, they found a small cage with a baby lion in it for sale! 「買い物をしている最中,彼らは,売り出し中の子ライオンの入った小さなケージを見つけた!」
- ▷ while 期間を表す接続詞。主節の主語と一致する場合、後続する主語・動詞を省略することも可能 (While shopping, they found ...)。
- ▶ a small cage 「小さなケージ」 cage は動物を入れる檻。「鳥かご」、「監禁所」、「エレベーターの箱」などという意味もある。
- ▶ a small cage with a baby lion in it for sale 「売り出し中の子ライオンの入った小さなケージ」 with は付帯状況を表し、⟨with+O+C(形容詞・分詞・副詞辞・前置詞句など)⟩の形で「O が C した状態で、O が C しながら」の意味を表す。e.g. an enormous desk with an old man sitting behind (老人が座っているすごく大きな机) / a woman with a baby at the breast (赤ちゃんに乳を飲ませている女の人) 《ジーニアス英和》 つまり、「a baby lion was in it for sale」の状態を伴った cage ということ。it は a small cage を指す。for sale は「売り物の;売りに」の意味。e.g. a classic car for sale (売り物のクラシックカー)
- p.28. l.5 "I've never seen a lion in a department store!" Ace cried out in surprise. 「『デパートでライオンなんて見たことがない!』とエースは驚きのあまり叫んだ。」
- ▶ I've never seen have never seen A「今までAを見たことがない」(→ G-1) 経験を表す現在完了形の否定文。否定を表す副詞 never を用いることで、経験した頻度がゼロであることを表している。
- ▶ **cry out** 「叫ぶ、大声を出す」 *e.g.* That scary movie made me *cry out*.(そのホラー映画を見て私 は叫んだ。) 類 shout out
- ▶ in surprise 「驚いて、驚きのあまり」この surprise は名詞であることに注意させる。 e.g. He

looked at me *in surprise*.(彼は驚いたような顔で 私を見た。) *cf.* in fear, in delight, in excitement

(3)

p.28, l.6 The baby lion was cute, but it looked really sad. 「子ライオンはかわいかったが,とても悲しそうに見えた。」

- ▶ looked really sad 「とても悲しそうに見えた」 look は「〈人・物が〉~のように見える」という意味の自動詞。 e.g. You look tired. (あなたは疲れているように見える。) really は sad を強調している副詞《主に略式》。

p.28, l.6 They felt sorry for the lion in such a small cage. 「彼らは、そんな小さなケージに入れられているライオンがかわいそうだと思った。」

- ▶ feel sorry for A 「A をかわいそうに思う」 feel の代わりに be でも同義。e.g. Mary lost her child. I feel sorry for her.(メアリーは子どもをな くした。彼女がかわいそうだ。)
- ▶ the lion in such a small cage 「そんな小さなケージに入れられているライオン」in 以下は lionを後置修飾する前置詞句。such は強調を表す形容詞で、形容詞を伴う名詞句の前に置かれる。冠詞のa、an は such の後に置く。e.g. such a good man (かくもいい男)

p.28, l.7 Finally John said, "Let's buy him." 「ついにジョンがこう言った。『この子を買おう。』」

- ▶ finally 「ついに」 cf. at last, in the end
- ▷ him 小さなおりに入った子ライオンを指す。
- ▷ A Lion Called Christian (Scholastic, 2010)によると、クリスチャンの値段は275 ポンドだった。当時としては大金だったが、それでも2人の考えは揺るがなかった。

補充質問」「追加の内容理解問題も記載。

- 1. What were John and Ace looking for at the department store?
 - Christmas presents for their families in Australia.
- 2. Where was the baby lion when John and Ace first saw him?
 - —He was in a small cage.
- 3. Why did John and Ace decide to buy the baby

lion?

— Because they felt sorry for him. / Because they wanted to save him.

Scene 2

訳例

4 そのオスライオンはクリスチャンと名づけられた。ほんの数日のうちに、クリスチャンはジョンとエースとの新しい生活が気に入った。2人とクリスチャンは、本当に仲良くやっていた。もし2人のどちらかがもう一方と話していたら、クリスチャンは軽く彼に触れて、一緒に遊びたいと伝えたものだった。

5 クリスチャンは外出することも大好きだった。 ジョンとエースは、彼に特製の首輪を買ってやった。 一緒に散歩に行くと、クリスチャンは興奮した子犬の ようにリードを引っ張った。彼らはまた、野原で何時 間も走り回ったり、ボール遊びをしたりした。「彼の いない生活なんて想像できないよ。」とジョンはほほ 笑みながら言った。

6 初めのうち、人々はロンドンにライオンがいるのを見て驚いた。しかし彼らにもすぐに、クリスチャンは小さなかわいい友だちなのだとわかった。新聞のカメラマンやテレビのレポーターをはじめ、多くの人々が、クリスチャンに会いに来た。

7 しかし, クリスチャンはとても速く成長していった。ジョンとエースは, 幸せな生活は長く続かないと感じていた。

解説

4

p.28. l.8 **The male lion was named Christian.** 「そのオスライオンはクリスチャンと名づけられた。」 **▶ male** 「オスの, 男の」⇔ female「メスの, 女の」

- ▶ **be named** *A* 「*A* と名づけられる」〈be 動詞+過去分詞〉の受動態。能動態で表すと,John and Ace named the male lion Christian. (主語 + name + 目的語 + *A*) となる。*cf.* be named after [《米》for] *A* 「*A* にちなんで名づけられる」*e.g.* The boy *was named after* his grandfather. (その男の子はおじいさんにちなんで名づけられた。)
- ▶ Christian 男の子の名前で、「キリスト教徒、クリスチャン」という意味。クリスマスの時期に出会ったことから、そう名づけられた《Christian the Lion》。



TRY 2: Main Idea

解答

1. N 2. N 3. M

訳例

主題にはM、狭すぎる記述にはNを書きなさい。

- 1. クリスチャンはジョンとエースとの新しい生活を 好きになった。
- 2. ジョンとエースは、クリスチャンは野生に戻るべきだということに同意した。
- 3. ジョン, エース, クリスチャンの間の友情はとて も強かった。

解説

本文の主題 (Main Idea) と狭すぎる記述 (Too Narrow) な文を選ばせる問題。 Main Idea と Too Narrow については,教科書 p.6 の解説を参照されたい。

本文の主題は、最後の文でまとめられているように、ジョン、エース、クリスチャンの固い友情の絆である。よって、それに最も合う 3 が M となる。 1 は第 4 パラグラフ、 2 は第 9 パラグラフで述べられているが、部分的な内容にのみ言及していて主題とは言えない。よって N となる。

TRY 3: Details

解答

Scene 1: a Scene 2: c Scene 3: a

Scene 4: d

「訳 例)

各場面に対して正しい記述を選びなさい。

場面 1

- ②ジョンとエースはロンドンのデパートでペットを探していた。
- ⑤ジョンとエースは家族と一緒にロンドンに住んでい た。
- ©クリスチャンはおりの中で幸せそうに見えた。
- ①ジョンとエースはクリスチャンを初めて見たとき、 かわいそうに思った。

場面 2

- ②クリスチャンが新しい生活を好きになるまでに数週 間かかった。
- ⑥クリスチャンは、彼らと一緒に食事をしたいときに やさしくジョンとエースに触った。
- ©ジョンとエースは、クリスチャンがとても早く成長 していくので、彼との生活は長くは続かないだろう と感じていた。

①人々はライオンを恐れていたので、ジョンとエース のもとを訪れることはなかった。

場面3

- ②クリスチャンが怒ったとき, エースは彼が野生動物であることを思い出した。
- 働ジョージはジョンとエースに大都市でのライオンの 飼い方を教えた。
- ©ジョンとエースは始発の飛行機に乗らなければなら なかったので、さようならを言わずに早くに出発し た。
- ①クリスチャンはケニヤに着くとすぐに野生での生活に戻った。

場面 4

- ③ジョンとエースは、クリスチャンのもとを離れた1か月後にアフリカを訪れた。
- 動ジョージはジョンとエースに、別のライオンを買うべきだと言った。
- ©ジョージはジョンとエースに「クリスチャンの近く に行くべきだ。」と言った。
- ①クリスチャンはジョンとエースを覚えていたので、 彼らに向かって走った。

解説

本文の詳細について、場面ごとに正しい文を選ばせ る問題。

場面 1 では、p.28, ll.6-7 に They felt sorry for the lion in such a small cage. とあるので@が正解。 @と@は第1パラグラフの内容と、@はl.6の記述と異なる。

場面 2 では、p.28, ll.19-20 の内容と一致する②が正解。③は ll.8-9, ⑤は ll.10-11, ⑥は ll.12-13 の記述と異なる。

場面 3 では、第 8 パラグラフの内容と一致する②が正解。⑤は l.21 の記述と異なる。ⓒの「始発の飛行機に乗らなければならなかった」は本文に書かれていない。ⓓは ll.29-31 の記述と異なり、クリスチャンは野生に住む訓練をしなければならなかったとある。

場面 4 では,第 13 パラグラフの内容と一致する 0 が正解。 (0) は (0) は (0) には (0) には (0) には (0) に対と異なる。

TRY 4: Deeper Understanding

解答例

1. e.g. He said so because Christian was very important for him and he always wanted to be

with Christian.

 e.g. They like it because the two men and Christian love each other even if they are different species and cannot communicate with words.

訳例

パートナーと次のことについて話し合いなさい。

- 1. ジョンはなぜ「彼のいない生活は想像できない。」と言ったのですか。
- 2. なぜ多くの人はこの話を好きなのですか。

解説

ディスカッションで本文理解を深める質問。生徒の本文に対する理解力と、考えを英語で発信する能力を同時に確認する。

1については、2人とクリスチャンの仲睦まじい様子をふまえて、ジョンとエースにとってクリスチャンがどのような存在であったかについて考えさせる。

2 については、最後の The men realized that true friendship and love have no limits. が参考になるだろう。本来、野生動物であり、捕食者であるライオンのクリスチャンが飼い主であるエースとジョンと離れても彼らのことを覚えており、種族を超えた友情が成立したというところがこの話の主題である。生徒には自分の飼っているペットの話などをさせて、「もしもかわいがっていたペットと離れ離れになり、何年も経って再会したときに自分のことを覚えていたらどう思うか。」などと質問して考えさせるのもよい。

TRY 5: Retelling (Retelling の解答例。

解答例

Scene 1

One day in 1969, John and Ace found a baby lion for sale in a crowded department store in London, when they were looking for Christmas present for their families. They felt so sorry for the lion in a small cage that, in the end, they decided to buy it.

Scene 2

The two men named the baby lion Christian, and they soon became good friends with him. People in London, including some journalists, also came to like Christian though they were surprised to see him at first. However, John and

Ace realized that they would have to say goodbye to Christian before long, because he was growing too big to live with them in the city.

Scene 3

One day, Ace was shocked and understood that Christian was a wild animal when Christian got really angry with him. George, an expert on lions from Africa, advised them that it would be best for Christian to live in the wild with other lions, so they took Christian to Kenya to set him free. John and Ace left Christian there after he learned how to live in the wild.

Scene 4

When John and Ace returned to Africa the next year, George told them not to come close to Christian, because he acted just like other lions in the wild. When they came to the field, however, Christian soon recognized them and ran up to them to show his big delight. The two men understood that true friendship and love lasts forever.

Let's Try!

訳例

話全体を100語程度で要約しなさい。

「**解答例の訳例**」(解答例は教科書 p.130 を参照)

ジョンとエースはデパートで売られている赤ちゃん ライオンを見かけた。彼らは彼をかわいそうに思い, 彼を買うことにした。彼らはそのライオンをクリスチャンと名づけ,良い友達になった。その街の人々はクリスチャンをかわいいと思った。しかし,彼が成長するにつれて,街で彼を育てるのは難しくなったので,ライオンの専門家と話してクリスチャンをアフリカに連れて行った。1年後,エースとジョンは再びアフリカに行った。彼らはクリスチャンに近づくのは危険だと言われていたが,驚いたことに,クリスチャンは彼らを覚えていた。彼らは,自分たちの友情と愛は永遠なのだと悟った。

指導例

まずは全体を初見で一気に読ませ、TRY1で本文 の流れを確認する。わからなかった箇所はチェックさ せておき、その後詳しく解説していく。

TRY2 では、個人で解答した後、ペアになってなぜそのような解答になるのかを話し合わせる。理由を説明するためには本文を深く読み込む必要があり、さらに本文理解が深まる。

TRY3 で詳細を確認した後にリテリングをする。 リテリングの手順は次のようにする。

- 1. ペアかグループを作り、生徒間で話し合いながら本文からキーワードを抜き出す。指導用データ集内の Retelling 用ワークシートを使用してもよい。
- 2. キーワードをもとに、ペアかグループで本文の Retelling を作成する。本文の暗唱にならないよう、 なるべくほかの表現を使うように指示する。その際、 本文のパラフレーズを参考にしてもよい。
- 3. 生徒だけでの作成が難しい場合は、必要に応じて 教師が本文のポイントについて質問する。もしくは、 Retelling 用ワークシートの穴埋めを使用する。
- 4. ペアかグループで作成した Retelling を発表させ、 どの Retelling が最もよくできているか生徒に選ば せる。選ばれた英文は、教師が文法の誤りなどを修 正した後、生徒に音読させる。

リテリングには教科書巻末の Summary Examples も参考になる。QR コードで Summary 音声を聞かせ、ディクテーションしてもよい。

最後に自分で本文の要約を考える。英語で考えるのが難しい場合は、先に日本語で要約させてもよい。ペアになってお互いの要約を添削し合う。その際、気をつけるべきポイント(語数、三単現の-s、時制など)は教師が事前に指示しておく。その後教師が添削するが、生徒のモチベーション維持のため、細かな文法的ミスよりも、文の構成の仕方や内容についてのコメントを多くしたほうがよいだろう。

写真・イラストの解説

写真の詳しい解説 も記載。

Scene 1

- ①「クリスマスにペットを。クリスマスプレゼントにペットを飼うことをお考えですか? ハロッズ動物園のバイヤーがヒントをお教えします。」との見出しをつけた当時の新聞。ここでは、マーカスとマータという2頭の子ライオンが売り出されている。子ライオンは1頭250ギニー(2009年の換算レートで3,500ポンド=約55万円)だという。クリスチャンも同じように、デパートで売りに出されていたのだろう。
- ②デパートで売りに出されているクリスチャンのイラスト。悲しそうなクリスチャンを見て,ジョンとエースは彼を飼うことに決めた。

Scene 2

- ①ロンドン南西部チェルシーのキングスロードにある, ジョンとエースが住むアパートの1室。テレビに前 足を載せて振り返るクリスチャン。テレビに大きな 興味を示していた。
- ②クリスチャンはエースやジョンと遊ぶのが好きだった。野原に行くと、時間を忘れたように何時間も走り回ったり、ボール遊びをした。ボール遊びは特に大好きで、いたずら好きでもあったクリスチャンは、わざとのようにボールではなくエースやジョンに飛びかかったり、お尻にかみつくような動作をすることもあった。
- ③4か月を過ぎるころになると、クリスチャンの体重 は 60 kg を超え、ロンドンの街なかにライオンがい ることが人々によく知られるようになった。新聞社 やテレビ局のレポーター. カメラマンが取材に訪れ. CM への出演依頼もあった。それはすべて、成長 とともにかさむようになっていたえさ代を稼ぐいい アルバイトにもなった。当時の新聞記事では、「キ ングスロードにいるネコ科の動物たちの中で一番人 気があるのは、なんといっても生後4か月半のライ オンのクリスチャンである」と語られている。クリ スチャンが引き取られてから1か月後のことである。 その記事でジョンとエースは「我々2人とクリスチ ャンは良好な関係にある」と語っている。しかし. 記事の時点で、クリスチャンの食費は週5ポンドか かっており、大きくなるにつれて増えるだろう、と の記載もある。クリスチャンの成長については. In six months' time he will be a big problem." とジョンがすでに懸念を示しており、この生活が長 くは続かないということをにおわせている。

Scene 3

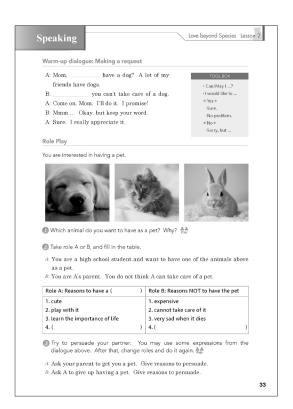
- ①エースがベルトを取り上げようとし、怒って歯を見せるクリスチャンのイラスト。この出来事が、クリスチャンは野生動物であり、人間と一緒に暮らし続けることは難しいというエースとジョンの決断の遠因になった。
- ②ジョージにクリスチャンのことを紹介するエースと ジョンのイラスト。ジョージはジョージ・アダムソ ンのことで、アフリカ、ケニヤの北部境界地帯で管 理人をしており、彼の妻ジョイとともに、母親を亡 くした3匹の子ライオンを育てたことがあった。ジョイがその経験をもとに「野生のエルザ」として出版した著書がベストセラーになって映画化され、その映画の主演を務めた俳優たちとエースたちが友人であったことからジョージを紹介されて知り合うこ

ととなった。

③ケニヤのタナ川の水辺でくつろぐ2人と1匹。クリスチャンを野生に戻す訓練をするため、ジョンとエースはしばらくケニヤで過ごした。タナ川は全長800kmの、ケニヤで最長の川。ケニヤ山の山裾を通ってインド洋に注いでいる。

Scene 4

- ①ジョンとエースは、クリスチャンを野生に返すため、ケニヤへと旅立った。ロンドンからケニヤのナイロビまでは、距離約 6,830 km、所要時間 8 時間 30 分。ロンドンのヒースロー空港から飛び立った飛行機が到着するのは、ナイロビのジョモ・ケニアッタ国際空港。現在、イギリス、ケニヤなどの航空会社数社が乗り入れており、毎日直行便が出ている。
- ②③ 1971 年,クリスチャンと再会したジョンとエース。2人に飛びついたクリスチャンは,2人の顔をなめ回し,親愛の情を示して,自分が2人を忘れていないことを伝えた。クリスチャンの体格は,1年の間に2倍になっていた。



Speaking

概要

「スピーキング(やり取り)」の技能を伸ばすための活動である。指示文は英語で、文字によって提示されている。

Warm-up dialogue では、「依頼する」表現を会話 例から学ぶ。相手に自分の要望を伝えたり、相手の依頼を了承または拒絶するなどのやり取りにおける定型表現を身に付けることで、この後の活動につなげていく。依頼の表現は日常的によく使われるものなので、典型的なやり取りの例や丁寧さの度合いもあわせて押さえておきたい。

Role play ではペットを飼いたい高校生とその親という設定でロールプレイを行う。Warm-up dialogue で学習した表現などを使い、理由をしっかりと述べながら相手に要求を伝え、それに対して了承または拒絶の返答を行い、問題の解決に向けて活動することが肝要となる。

Warm-up dialogue: Making a request 解答例]

Can [May] I (have a dog?)
Sorry, but (you can't take care of a dog.)

訳例

A: お母さん, 犬を飼ってもいい? たくさんの友達 が犬を飼ってるんだ。

B: 残念だけど、あなたには犬の世話ができないわ。

A: 頼むよ, お母さん。ぼく, やるよ。約束するから!

B: うーん…。わかったわ。でも約束は守るのよ。

A: もちろん。本当にありがとう。

TOOL BOX

・~してもよろしいですか。

・~したいです。

《はい》

一もちろんです。

一問題ありません。

《いいえ》

一すみませんが…。

解説

can/may は「~してもよい」という許可を表し、Can/May I ~?は「(自分が)~してもよろしいですか」と相手に許可を求める表現である。Can/May I ~, please? とするとより丁寧な言い方になる。

can は may よりも口語的で、日常的によく使われる。 may は堅い表現で、目下の者が目上の者に許可を求めるときに使うことが多い。くだけた言い方では Is it all right [alright, OK] if I …? とも言う。

Can/May I ~?に対する返答は, 教科書にある例 のほかに,

《Yes》Yes, of course. / Yes, you can. / All right. / Certainly. / Go ahead. / Why not?

《No》I'm sorry you can't. / No, you can't. / I'm afraid you can't. / I'm afraid not.

などがある。Yes, you may. / No, you may not. は, 目上の者が目下の者に許可を与えるとき[与えないと き]以外は使わないので注意する。

would like to do は want to do (~したい)より控えめで丁寧な言い方。疑問文で Would you like to do? とすると、「~しませんか」と相手を誘ったり、何かを勧めたりするときの丁寧な表現となる。e.g. Would you like to dance with me? (私と踊らない?)

そのほか、相手に「~してくれませんか」とたずねる 表 現 に は、Can/Will you ~ (、please)? → Could/Would you ~ (、please)? → Do you think you could ~? / Would you mind doing ~? / Would it be possible for you to do ~? などがあり、

後ろにいくほど丁寧度が高くなる。

指導例

- 1. 音声を聞かせ、解答を確認する。
- 2. ペアになり、質問と答えを音読させる。
- 3. 一部の語句を置き換え、即興の会話をさせる。

Role play

訳例

- あなたはペットを飼うことに興味があります。
- ①どの動物をペットとして飼いたいですか。それはな ぜですか。
- ② A か B の役を選び、表を埋めなさい。
- A: あなたは高校生で、上の動物のうちの1つをペットとして飼いたいと思っています。
- B: あなたは A の親です。あなたは A にはペットの 世話ができないと思っています。

A 役:()を飼う理由

- 1. かわいい
- 2. 一緒に遊べる
- 3. 人生で重要なことを学べる
- 4. (
- B 役:ペットを飼わない理由
- 1. 費用が高い
- 2. 世話ができない
- 3. ペットが死んだときに悲しい
- 4. (
- ③あなたのパートナーを説得してみましょう。上の会話の表現を使ってもよいです。その後役を交代し、 もう一度やりましょう。
- A: あなたの親にペットを飼わせてくれるよう頼みなさい。説得するための理由を挙げなさい。
- B: A にペットを飼うことをあきらめるよう言いなさい。 説得するための理由を挙げなさい。

解答例

豊富な解答例と会話例。

(1)

- · I want to have a dog because it will be my good friend.
- · I want to have a cat because it is so cute.
- · I want to have a rabbit because it makes me feel calm.

(2)

Role A: Reasons to have a dog/cat/rabbit

become good friends with it / make me happy [smile] / be a good exercise / provide security / save a life from a shelter

Role B: Reasons NOT to have the pet

dirty / be responsible for it / allergy / noisy / can be dangerous / make vacations difficult / need a lot of space

会話例

- **S1:** May I have a dog? A dog will be our good friend and be a watchdog. Also, walking a dog is a good exercise for me.
- **S2:** I'm sorry you can't. Dogs can be dirty and noisy. When they bark at night, it bothers everyone in the neighborhood.
- **S1:** Oh, come on. I will train the dog and keep the room clean. I promise!
- **S2:** You're just saying that. Finish your homework first!
- **S1:** Could you talk to me about it again after I finish my homework?
- **S1:** May I have a cat? If I adopt a cat from a shelter, we can save its life.
- **S2:** You are so kind! But I'm afraid you can't. Our apartment is small, so the cat cannot walk freely and it can feel stressed. Also, what would you do if you have an allergy to the cat?
- S1: I'm sure I'm not allergic to cats because I was OK when I played with my friend's cat. Also, small places make cats feel relaxed.
- S2: Mmm ... OK, but take care of it by yourself!
- S1: Sure. Thank you very much!
- **S1:** Can I have a rabbit? It is so cute and it will make me happy every day.
- **S2:** No, you can't. Pets are a lot of trouble. You usually travel to different places with your volleyball team to play games on weekends. What would you do with the rabbit when you are far away from home?
- **S1:** My sister, Yumi, will take care of it because she has long wanted to have a pet.
- **S2:** Mmm ... Talk with your sister about it. If she agrees with you, I'm OK with that.
- S1: I'll talk to her later. Thanks anyway.

指導例

- 1. 実際にペットを飼っている生徒がいれば、ペット を飼っていてよかったこと/大変なことをクラスで 共有し、活動のイメージを膨らませる。
- 2. ペアを作り、ペットを飼う理由/飼わない理由を 考えさせ、なるべく多くの項目をあげさせる。うま く英語で表現できないものがあれば、必要に応じて 語句や表現の仕方などの手助けをする。
- 3. まとめた内容と Warm-up dialogue をもとに、パートナーと会話をさせる。その際、なるべく多くの項目をあげて説明ができるようにする。即興の会話が難しいようであれば、事前にパートナーと打ち合わせをさせる。
- 4. いくつかのペアを指名して発表させる。

指導上の留意点

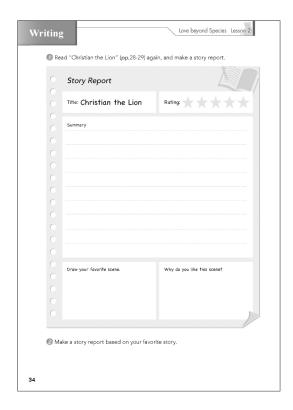
アイデアが出ない場合も想定し、いきなり個人で考えさせたりせず、ペットを飼っている生徒に発言させることで、ペットを飼ったことがない生徒もペットを飼うイメージを持つことができる。それでも無理なら、複数の選択肢をあらかじめ与えておき、自分の答えに近いものを選ばせる。

評価の際には、依頼の表現がきちんと使えているか、 会話が成り立っているか、文が単文で終わらず、多く の項目を盛り込もうと努力しているかなどの観点から 評価する。

《ルーブリック例》

A すぐれている	意見をはっきりと述べており、その理由もきちんと伝えることができている。 情報が多く、随所に工夫が見られる。適切な表現方法を用いてわか
	りやすく伝えている。
B \$v	理由について不十分な点もあるが, 意見を伝えることができている。 最小限の情報にとどまり,表現方 法にやや誤りが見られるが,誤解 を生じるほど大きな誤りではない。
C 努力を要する	意見がまったく述べられていない。 または、理由がまったく述べられ ていない。 表現方法に誤りが多く、意見が伝 わらない。

評価のためのルーブリックも記載。



Writing

概要

「ライティング」の技能を伸ばすための活動である。 指示文は英語で、文字によって提示されている。

"Christian the Lion" のストーリー・レポートを書くという課題である。本文の要約は教科書 p.130 の Summary Examples でも示されているが、それを参考にしつつ、あくまで自分なりの要約を行うように指導したい。ストーリー・レポートであることをふまえ、自分が気に入ったシーンを重点的に説明するというまとめ方も考えられる。

同じ要領で、自分の好きな本・映画・漫画・ドラマ・アニメなどのストーリーを解説し、友達に紹介するという活動を行う。各レッスンで行っているRetellingにも通じる活動なので、紹介したい作品のキーワードを書き出しながらやるようにするとよいだろう。

訳例)

①「ライオンのクリスチャン」(*pp.*28-29)をもう一度 読み、ストーリー・レポートを作成しましょう。

ストーリー・レポート	
タイトル:	評価
ライオンのクリスチャン	
要約	
お気に入りの場面の絵を	なぜこの場面が好きなの
描きましょう。	ですか。

②あなたのお気に入りの物語に基づいたストーリー・ レポートを作成しましょう。

「解答例)

1

Story Report	
Title:	Rating
Christian the Lion	****

As John and Ace were shopping for Christmas presents in London, they found a baby lion for sale in a department store. They bought the lion, and named him Christian. The two men and Christian became good friends and spent happy days together, but as Christian grew up, John and Ace came to realize the difficulties living with a wild animal. They decided to set Christian free in Kenya, Africa, and trained him to live in the wild. A year later, they returned to Africa and met Christian. Surprisingly, Christian remembered his old friends! The three friends realized that true friendship and love last forever. (105 words)

Drawing of Meeting I was impressed by Again their true friendship beyond species.

Story Report			
Title: Momo	Rating ★★★★		
Momo was a girl who had a special talent for			
listening to others. People in the city found a			
way to solve their problems thanks to Momo.			
Then, the men in gray came to the city. They			
lived on the time they stole from people. They			
persuaded the people to save time. The people			
became unhappy because they were deprived of			
precious time with close friends and family			
members. Still, they tried hard to save more			
time. Momo met Professor Hora, the time			
manager, and was given an hour lily. With the			
power of the hour lily, Momo defeated the men			
in gray. The people in the city got back their			
precious time and peace of mind. (117 words)			
Drawing of Momo and	I was thrilled about		
Cassiopeia Going to	whether Momo and		
Professor Hora's	Cassiopeia was able to		

指導例

House

1. Retelling のキーワードなどをもとに、本文の要 約をさせる。特に印象に残った部分を重点的に説明 させてもよい。

avoid getting caught by the men in gray.

- 2. なぜその部分が印象に残ったのか、それについて どう思ったかという感想も添えて書かせる。
- 3. "Christian the Lion"の形式をもとにして、自分の好きな本・映画・ドラマ・漫画・アニメなどのストーリー・レポートを書かせる。長い話であれば、特に好きな一場面について説明させてもよい。
- 4. ペアを作り、お互いのレポートを交換してコメントをつけさせる。その際、あらかじめ確認すべき文法項目や盛り込むべき内容などの注意点を教師が指示しておく。
- 5. 提出させ、教師がコメントをつけて返す。

指導上の留意点

あらかじめ「100 語程度」などの語数を決めて書かせるのも要約の練習になる。とはいえレポートなので、本の書評を作成する感覚で、「友人にこの話を読むように勧めるとしたらどのように説明するか」という観点から作成させると作りやすいだろう。

A すぐれている	伝えたい内容がはっきりしており,
	その理由や詳細についても記述で
	きている。
	自然で英語らしい、文法的にも正
	しい文が使えている。単純な文の
	繰り返しになっていない。
B \$v,	伝えたい内容ははっきりしている
	が、その理由や詳細についてやや
	不足が見られる。
	内容を伝えることはできているが、
	文法的な間違いが見受けられる。
C 努力を要する	伝えたい内容がはっきりしない。
	また、理由や詳細についても記述
	がない。
	文法上の間違いがかなりあるため,
	内容を伝えることができていない。